

たかおか

特集

Go Toトラベル事業
『地域共通クーポン』配布開始!

メンバーズニュース

- 株式会社グランテック
- 株式会社マツノ ミライ事業部

経営相談 税務・労務Q&A

- 税務●新型コロナの影響による賃料減額の取扱いについて
- 労務●外国人労働者（特定技能の在留資格）がコロナ感染で解雇された場合、日本滞在は可能か

談話室

- 新型コロナウイルス感染症の予防



10月1日～

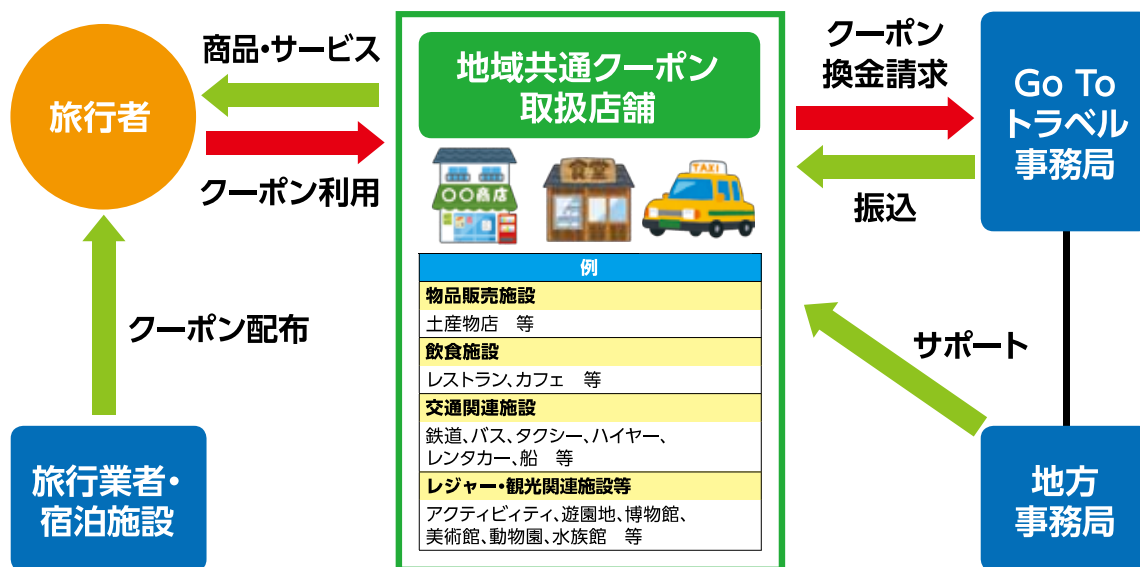
安全で安心な新しい旅のスタイル

Go To トラベル事業『地域共通クーポン』配布開始！

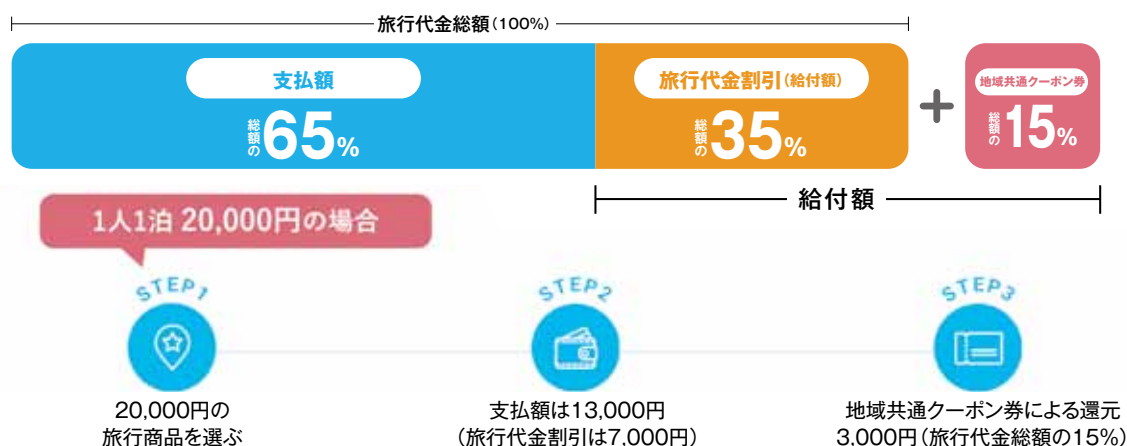
観光産業は、旅行業や宿泊業のみならず、貸切バス、ハイヤー・タクシー、レンタカー、フェリー、飲食業、物品販売業など、裾野が非常に広く、多くの地域経済を支える重要な産業ですが、新型コロナウイルス感染症発生直後より、大変深刻な影響を受けています。

このため、Go To トラベル事業では、多種多様な旅行・宿泊商品の割引と、旅行先の土産物店、飲食店、観光施設、交通機関などで幅広く利用できる『地域共通クーポン』の発行により、感染拡大により失われた観光客の流れを地域に取り戻し、観光地全体の消費を促すことで、地域における経済の好循環を創出します。

Go To トラベル事業とは



Go To トラベル事業とは、宿泊・日帰り国内旅行の代金総額の1/2相当額(1人1泊あたり2万円が上限)を国が支援する事業です。支援額の内、70%は旅行代金、30%は旅行先で使える地域共通クーポンとして付与されます。(例えば、2万円の旅行商品であれば、7千円の旅行代金の割引、3千円の地域共通クーポンを受けられます。)



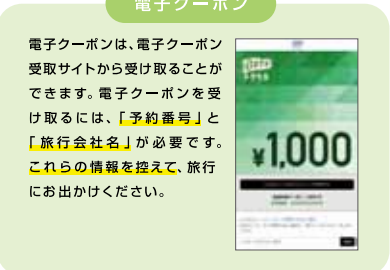
地域共通クーポンとは

旅行先の都道府県とその隣接都道府県において、旅行期間中に限って、Go To トラベル事務局の登録を受けた地域共通クーポン取扱店舗で利用できるクーポンです。

地域共通クーポンは紙クーポンと電子クーポンの2種類があり、お店で取り扱うクーポンは選択できます。(両方選ぶことも可能)

お店が「地域共通クーポン取扱店舗」となるためにはP4の登録が必要です。

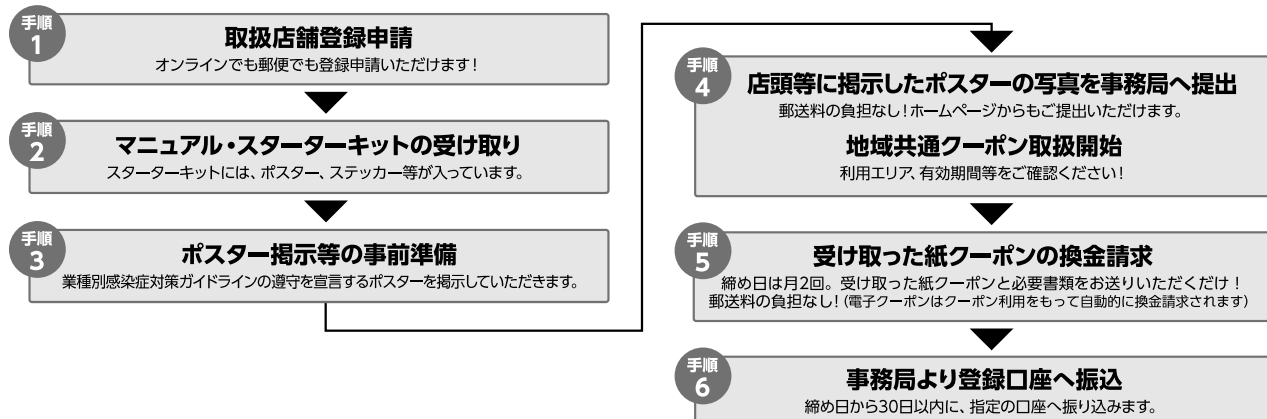
地域共通クーポンの概要

発行者	国土交通省
発行形態	紙媒体のクーポン及び電子媒体のクーポン
発行券種	紙クーポン：券種 1,000 円 1 種類 電子クーポン：券種 1,000 円、2,000 円、5,000 円 3 種類 紙クーポン  電子クーポン 電子クーポンは、電子クーポン受取サイトから受け取ることができます。電子クーポンを受け取るには、「予約番号」と「旅行会社名」が必要です。これらの情報を控えて、旅行にお出かけください。 

地域共通クーポン取扱店舗の登録について

受付期間	令和2年9月8日(火)～ ※キャンペーン期間中は締切がなく随時受付
対象者	利用対象とならない商品等のみを取り扱う店舗を除く幅広い事業者 ※新型コロナウイルス感染症対策を遵守し、地域共通クーポンを適切に取り扱うことが要件。
登録申請手続き	次のいずれかの方法で申請 1) Go To トラベル事業者向け公式サイトから申請：オンライン申請 (申請様式のダウンロードは不要) https://biz.goto.jata-net.or.jp/coupon/ 2) 郵送申請・・・(必要な申請様式は公式サイト上でダウンロード可能) 【申請書類送付先】〒100-6051 東京都港区西新橋1丁目24-14 Go To トラベル事業 地域共通クーポン取扱店舗登録事務局 ※郵送申請を希望し、申請書類一式が必要な場合は、Go To トラベル事業コールセンターへ連絡
登録申請必要書類	1) 取扱店舗登録申請書 2) 取扱希望店舗リスト・・・複数店舗を持つ団体が一括登録する場合に必要 3) Go To トラベル事業参加同意書 4) 口座確認書 5) 口座情報が確認できる書類(通帳の写し、キャッシュカードの写し等) 6) 日本国内で事業を行っていることを公的に証明できる書類(開業届、確定申告書、納税証明書、業種に係る許可証、免許証の写し等) ※ Go To Eat 対象の「飲食店」は、同事業の登録を証する書類が必要。(後日提出可、以下[参考]を参照)
[参考]飲食店の登録手続の流れ ※「飲食店」とはGo To Eatの対象となる飲食店をいう。 ・飲食店のGo To トラベルの登録には、Go To Eatの登録が必要。 ・Go To Eatの登録が完了するまで、Go To トラベルの登録は保留。	

登録から精算までの流れ



登録申請や精算などをサポート!! お困りの場合はお問い合わせください。

●お問い合わせ先

Go To トラベル事務局コールセンター

(受付時間10時～19時 ※年中無休)



0570-017-345
03-6747-3986



Go To トラベル事業者向け申請サイト <https://biz.goto.jata-net.or.jp/>



PHOTO LIBRARY



9.9 ~ 18

常任委員会を開催

令和3年度提案要望について協議

総務・組織運営常任委員会など全5常任委員会を高岡商工ビルで開催し、令和3年度の高岡市への提案要望について協議した。会議では長期化が予想される新型コロナウイルス感染症対策の継続支援や、御旅屋セリオを主とした中心市街地の活性化等について活発な意見交換がなされた。その他、事務局からは新型コロナに対応する経営相談体制強化事業や高岡地域地場産業センター移転オープン等について説明した。



9.7

女性会がキャッシュレス決済 セミナーを開催

QRコード等を利用した決済方法を学ぶ

当所女性会はキャッシュレス決済の基本的な使い方やキャッシュレス決済を活用して行われる各種制度について学ぶセミナーを高岡商工ビルで開催し、会員14名が参加した。講師のオフィスクリエイション代表 大野正晴氏からは、各種決済サービスの概要やポイント制度の活用について説明があり、参加者らはスマートフォンを操作しながらPayPay等決済サービスの便利な使い方を学んだ。



9.14 ~ 16

集合健康診断を実施

労働者の健康確保を推進

2020年度の集合健康診断を実施し、会員事業所103社570名が受診した。当所では、会員事業所から希望者を募り、毎年9月に(一財)北陸予防医学協会の巡回健診を高岡商工ビルで実施しており、身体測定や尿検査などの基本的な診断から、胃部X線検査、乳がん検査などのオプション検査まで希望に合わせて設けた3コースを実施する他、高岡総合健診センターで受診できる人間ドックも受け付けている。



9.13

たかおか朝市 40周年記念イベントが開催

岐阜県高山市・石川県輪島市のお店が特別出店

地元の農作物や食品などを販売する「たかおか朝市」の40周年記念イベントが坂下町通りで開かれた。市外からは氷見市や岐阜県高山市、石川県輪島市などの10店が特別出店し、野菜や漬物、海産物などの販売を行った。市内の約50店も青果や加工食品、手工芸品などを並べ、各地の特産品を買い求める人で賑わった。たかおか朝市は10月までの第2・第4日曜日に開催される。



9.25 ~

IoT活用推進研究会を開催

コロナ禍で加速するIT化に対応

企業の生産性向上や技術の高度化を図るため、昨年度に引き続き「たかおかIoT活用推進研究会」を高岡商工ビルで開催し、6名が参加した。新型コロナウイルスの影響もあり、IoTやIT等による自動化・省人化の推進、非接触型販売等への対応は急務となっており、今年度の全5回の研究会では、講演や事例研究、視察等を通じて、知識の習得や導入計画作成等をアドバイザーの助言を受けながら進めていく。



9.22

高岡大仏奉賛会が「高岡大仏特別法要」を開催

交通安全・新型コロナウイルス感染症収束を祈願

例年秋分の日に開催される「高岡大仏まつり」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、大仏寺御堂にて「高岡大仏特別法要」が行われた。高岡大仏奉賛会塩谷雄一会長(高岡商工会議所会頭)が開会挨拶し、交通安全祈願・交通事故物故者回向、新型コロナウイルス感染症収束祈願を行った。法要の前には、例年より少人数で大仏様御身拭いを行い、連休最終日でありながら県外ナンバーの車も多く、多くの参拝者で賑わった。



9.28 ~

3級簿記講座が開講

日商簿記検定試験3級合格を目指す

3級簿記講座を高岡商工ビルで開催し、18名が受講した。簿記は業種・職種にかかわらずビジネスパーソンが身に付けておくべき「必須の基本知識」として、多くの企業から評価される資格であり、3級では商業簿記の基本原則の修得を目的に、小規模企業における企業活動や会計実務を踏まえた経理関連書類の適切な処理を学ぶ。講座は全12回で10月末まで行われ、11月15日に実施される日商簿記検定試験の合格を目指す。



9.27

伏木テイクアウトマルシェ・ふるこはんフェスが開催

伏木地区イベント満載の一日に

今年6月に開催し好評だった「伏木テイクアウトマルシェ」の第二弾が伏木コミュニティセンターで開かれた。今回は伏木地区の飲食店のお弁当やお菓子の他、勝興寺や伏木曳山祭を描いた土産物の新商品等も並び、大勢の住民らで賑わった。また同日には国重要文化財勝興寺をPRする「ふるこはんフェス」が新型コロナウイルス感染防止のため来場者数を限定して開催され、催しの様子がオンラインで生配信された。